

IXL を ガソリン・軽油 等 燃料への 使用例 ■ エンジンオイルへの添加と違い速攻で 実感できます ■

エンジンオイルが循環しない キャブレター、燃料噴射システム、燃料インジェクター、燃料ポンプへ IXL 効果を発揮します。 エンジンオイルへの添加と違い速攻でアクセルとのレスポンスが実感できます。 ディーゼルの黒煙が激減します。直接 給油口より 添加してください。

★ 市販の添加剤は メーカーの指定ではありません 個人の責任で添加して下さい ★

■ 添加率が かなり薄いので 入れ過ぎに注意！！ ■



燃料への添加率 1 対 2560 (一般車)

レース仕様は2 倍の濃いめで

ガソリン

IXL 添加量

32 リッター	13 c c
25 リッター	10 c c
20 リッター	8 c c
13 リッター	5 c c
10 リッター	4 c c
5 リッター	2 c c

添加の間隔は 継続的な使用が有効となりますが 一般の乗用車には適度な間隔 — たとえば 月に 1 回 満タンにしたタイミングでも効果は持続します レース仕様には 倍の濃いめで毎回 給油の度に添加がお勧めです

バイクの 2ST オイルは ガソリンと混合されて燃焼するのであらかじめ オイル缶へ添加しておく と 毎回の添加が省けて便利です 原付などの 2ST オイルへは 4~6%の添加率なので 例) 00cc の 2ST オイル缶なら 20~30cc 程度をあらかじめ添加しておく と便利です レース当日は皮膜が出来上がっている ので ガソリンへの添加は不要！！

★レース用混合式 2ST バイク・レーシングカート 2ST オイルへ 2~3%の添加率です

ガソリン (燃料) に対しての IXL の添加率は 倍の 1280 対 1 なので



■ 混合比が 25 対 1 の場合

ガソリン 1000 cc に 40 ccのオイルが混合されるので $1000 \div 1280$ で 0.78125 ccの IXL が 40 ccのオイルに含まれるには 1.953%の添加率となり 約 2% の添加で 2ST 500cc 缶には $500 \times 0.02 = 10$ ccの添加となります

■ 混合比が 30 対 1 なら

同じ方法で 2.604% で 約 3%の添加となり 2ST 500cc 缶には $500 \times 0.03 = 15$ ccとなります

レース当日は皮膜が出来上がっている ので ガソリンへの添加は不要！！

すこしでもガソリンが多いほうが爆発力はあがります

★2022 年まで「全日本カート選手権」KT100 デリバリエンジンの組付け時にも使用されていました★

JAF・MFJ の燃料検査もパス レースの規則に合法的な整備です

★一般の原付・農耕器具の 2ST オイルへ 添加率は 約 1%で

500cc 缶へは $500 \times 0.01 = 5$ cc程度の添加で十分な IXL 効果を発揮します



ベアリング・チェーンにも直接塗布できます

走行するほど 皮膜が出来上がり 金属摩擦が激減！！

IXL 販売ホームページ →

(もちろん 0 リングチェーンにも使用できます)

(株)太田 090-3280-9800 安全なページです

またチェーンへの塗布は必ずチェーンオイルと併用してください (チェーンがサラサラになるのが実感できます)

IXL はオイルによって局圧点へ運ばれて皮膜を形成するからです

ブレーキ・クラッチフルードには添加できません サスオイルや ベアリングへも